

令和元年度事業実施報告書

本年度は、下記の活動テーマ及び重点目標を掲げ、各地域や全県において、消費者啓発・被害防止等のための事業を実施しました。

＝活動テーマ＝

「魅力ある消費者市民社会に向けて行動しよう！」

＝重点目標＝

「一人の力が社会を変える。気づいて、つないで、輪を広げよう」

【今年度事業の特色等】

I 新潟県消費者協会事業

1 講演会等の実施

現在の消費生活や社会情勢に合せ、協会会員及び一般市民の消費者意識の向上に役立つ講演会等を7回実施しました。

通常総会記念講演会では、新潟大学 教育・学生支援機構特任教授 伊藤 充氏より、新潟の県民性を生かした消費生活の方向性を示す興味深いご講演をいただきました。6月は、農林水産技術会議事務局の森明 修由氏から、新しい技術であるゲノム編集食品について、また、消費税増税に伴うキャッシュレス決済によるポイント還元実施直前となる9月は、キャッシュレス決済の仕組みを金融経済講演会を実施しました。

地区講演会・研修会では、「フードバンクの活動と仕組み」、「高齢者等の消費者被害を防ぐための見守りネットワーク」、「プラスチックごみによる海洋汚染の現状」などのタイムリーな話題を取り上げました。

初めてクリーニング懇談会を長岡市で開催し、中越地区の会員の参加も多く、家庭でできるお手入れの実演と講演は大変好評でした。

2 令和元年度「内閣府特命担当大臣表彰」受賞

消費者支援活動に顕著な功績があった団体や個人に贈られる消費者支援功労者表彰の「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。5月に首相官邸にて、宮腰光寛大臣より表彰状と副賞を授与されました。

3 第3回団体代表者会議、団体代表者と団体賛助会員との懇談会の中止

4月25日、6月27日に団体代表会議を開催しましたが、新型コロナウイルス感染予防のため、3月3日の第3回団体代表者会議、団体代表者と団体賛助会員との懇談会を中止しました。

4 消費生活ネットワーク新潟への参画

佐渡市消費者協会に続き、元年度は新潟市消費者協会が団体会員に加わり、また、各地の消費者協会会員が活動委員会へ参画するなど、適格消費者団体認定へ向けた活動に積極的に協働しました。

II 受託事業（委託者：新潟県）

1 地域の見守りの担い手となる消費生活サポーター養成講座

新潟市で養成講座を実施し、45人が受講しました。今年度受講者28人と昨年度受講の補講者2人が修了し、うち27人が消費生活サポーターに登録し活動を始めました。

2 消費生活サポーター派遣事業

地域のお茶の間や地域包括支援センター、自治会からの依頼が多く、123件の消費啓発講座にサポーターを派遣しました。障がいのある方々の団体や民生委員・児童委員の研修などの依頼も増え、事前準備を綿密に行う等対象者ごとに配慮して実施したため、大変好評でした。

【事業実施に関する事項】

I 特定非営利活動に関わる事業

1 新潟県消費者協会事業

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数(人)	支出額(千円)
消費生活に関する知識の普及と公正な情報の提供に関する事業	消費生活に関する講演会・講習会 ・通常総会記念講演会「新潟県 県民性の歴史と消費生活」 新潟大学 教育・学生支援機構 特任教授 伊藤 充 氏	4/25	新潟ユニゾンプラザ	15	会員・一般 122	5,977
	・講演会「ゲノム編集食品とは？」 農林水産技術会議事務局 研究企画課技術安全推進班 技術安全推進 第1係長 森明 修由 氏	6/27	新潟市万代市民会館	9	会員・一般 62	
	・金融経済講演会「キャッシュレス決済 具体的な利用方法」 一般社団法人キャッシュレス推進協議会 ディレクター 鈴木 麻友 氏	9/13	新潟ユニゾンプラザ	7	会員・一般54	
	・クリーニング懇談会「クリーニングのプロに学ぶ衣類のお手入れ」 新潟県クリーニング生活衛生同業組合 副理事長 大越 幸一 氏 副理事長 若井 尚史 氏	2/19	まちなかキャンパス長岡	4	会員・一般 37	
	・「消費者情報(カラピナ)」 158号～160号発行 各1,800部	7/7 11/11 3/3	新潟市	7	会員・ 関係機関・ 一般	
	ホームページによる情報提供	年間	県外・県内	2	一般	
	地域啓発事業□	年間	各団体正会員協会所在地	17団体□	会員・一般	
	地区研修会 ・佐渡地区 「もったいないを生かす！フードバンクの活動とは」 NPO法人フードバンクにいがた 眞木 英明 氏	9/5	アミューズメント佐渡	各4	会員・一般 51	
	・下越地区「見守りネットワークを考える」 新潟みなと法律事務所 堀田 伸吾 氏	10/25	新発田市社会福祉協議会ボランティアセンター		58	
	・中越地区 「プラスチックごみによる海洋汚染の現状」 東京海洋大学名誉教授 兼廣 春之 氏	10/31	まちなかキャンパス長岡		63	

消費生活に関する調査・検討及び意見の公表に関する事業	・3Rキャンペーン	10月	各団体正会員協会所在地		一般	173
	・全国消費者協会連合会 「エンディングプラン(終活)について」調査	11月	各団体正会員協会所在地	各3	会員・一般 50	
消費生活に関する相談・苦情の処理に関する事業	電話相談(事務局) 4月～3月 相談件数 18件	年間	新潟市	3	一般	6
県内外の関係団体とのネットワーク構築及び交流に関する事業	広域ネットワーク会議 (地区連絡会)	9/5	佐渡市	各5	会員	463
		10/25	新発田市			
		10/31	長岡市			
	関係団体への参加					
・全国消費者協会連合会総会・研修(東京開催)	6/20.21	県内・県外	8	一般		
・消費生活ネットワーク新潟ほか	年間					
関係機関などの会議・イベント等への参加	年間	県内・県外	1～15	一般		
行政・事業者への意見表明・連携に関する事業	関係機関などの会議・イベント等への参加	年間	県内・県外	1～8	一般	66

<会議等の開催>

- 1 通常総会、記念講演会 4/25
- 2 第1回理事会 4/18、第2回理事会 2/18
- 3 団体代表者会議 4/25、6/27
- 4 常任理事会 定例会月1回 計12回、打ち合わせ随時
- 5 情報委員会(消費者情報カラピナ編集会議)
158号 4/22、5/30、6/11、6/20 159号 8/29、10/3、10/16、10/21、
160号 12/9、1/21、2/5 計11回

2 受託事業(委託者：新潟県)

消費生活サポーター活用推進事業

2-1 地域連携による消費者啓発・教育推進事業

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
消費生活に関する知識の普及と公正な情報の提供に関する事業	消費生活サポーター活動推進事業 ① 消費生活サポーターフォローアップ研修 ・フォローアップ講座 122人 ・消費生活サポーター養成講座 聴講 延べ21人	7/16 10/24～11/28	新潟ユニゾンプラザ 新潟ユニゾンプラザ	各8	消費生活サポーター 208	3,048
	② 消費生活サポーター活動支援 ・サポーターの連携・グループ化 ・「消費生活サポーターだより」作成、配布(13,000部) ・登録・管理・連絡調整	通年 8月～2月 通年	県内	各3	消費生活サポーター及び一般	

2-2 地域における見守りの担い手となる消費生活サポーター養成事業

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
消費生活に関する知識の普及と公正な情報の提供に関する事業	消費生活サポーター養成講座 受講者45人、修了30人 (受講者28人、補講者2人) 登録者27人 (受講者25人、補講者2人)	10/24～11/28	新潟ユニゾンプラザ	各4	県民45	1,668

2-3 消費生活啓発講座コーディネート事業

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数(人)	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
消費者被害防止に関する情報提供等に関する事業	消費生活サポーター派遣事業 登録者 232人 派遣回数 123回 派遣延べ人数 418人	4/5～2/27	県内	3	一般 3,166人	2,598

II その他の事業

なし

令和元年度 決算報告書

令和元年度 財産目録

(令和2年3月31日現在)

特定非営利活動法人新潟県消費者協会

科 目	金 額 (単位：円)		
資産の部			
流動資産			
当座預金	24,475		
ゆうちょ銀行	24,475		
普通預金	745,454		
第四銀行	745,454		
流動資産合計		769,929	
固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			769,929
負債の部			
流動負債			
未払い金	72,495		
前受金	24,900		
預り金	49,572		
--源泉所得税(給与)	13,650		
--社会保険料	35,922		
流動負債合計		146,967	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			146,967
正味財産合計			622,962

令和元年度 貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

特定非営利活動法人新潟県消費者協会

科 目	金 額 (単位：円)		
資産の部			
流動資産			
当座預金	24,475		
普通預金	745,454		
流動資産合計		769,929	
固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			769,929
負債の部			
流動負債			
未払金	72,495		
前受金	24,900		
預り金	49,572		
流動負債合計		146,967	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			146,967
正味財産の部			
前期繰越正味財産		567,849	
当期正味財産増減額		55,113	
正味財産合計			622,962
負債及び正味財産合計			769,929